

週間漁海況情報 2023年第4号

令和5年1月24日発行

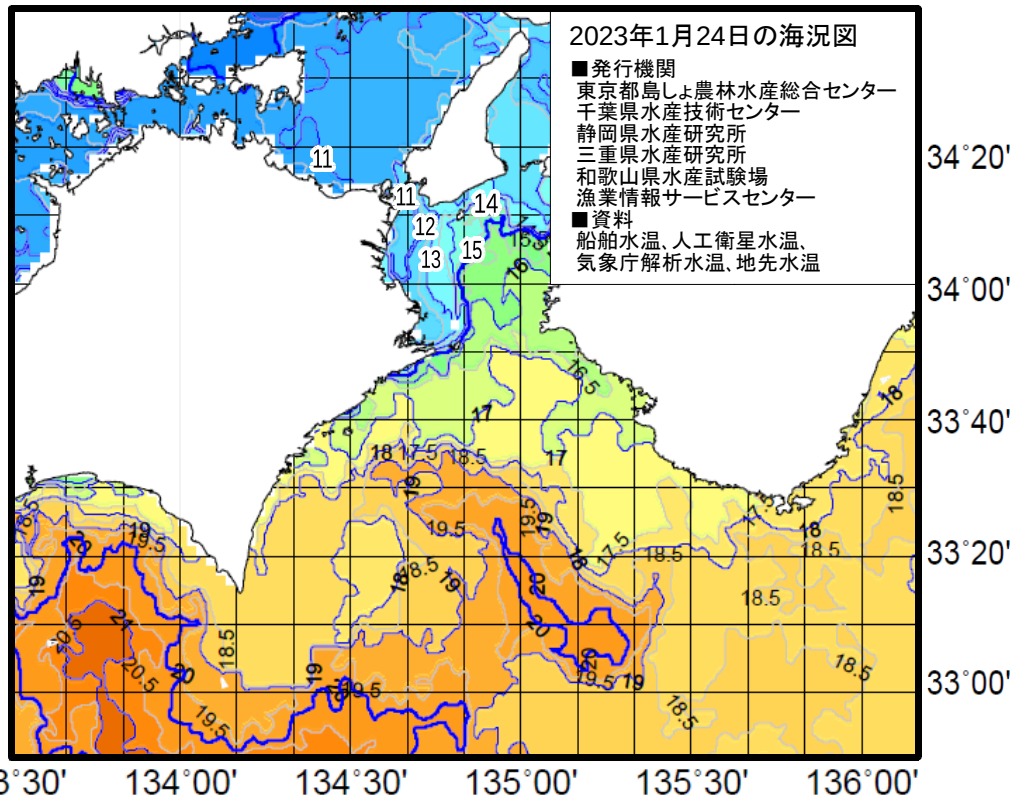
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖70マイル、潮岬沖169マイルを流れ、いずれも「著しく離岸」している。今後、室戸岬から、さらに離岸すると予測されている。

黒潮の表面水温は20～21℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘が10～11℃台、紀伊水道が10～15℃台、海部沿岸が15～17℃台となっている。紀伊水道口の15℃の等水温線は和歌山側では、大きく北上している。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
 潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

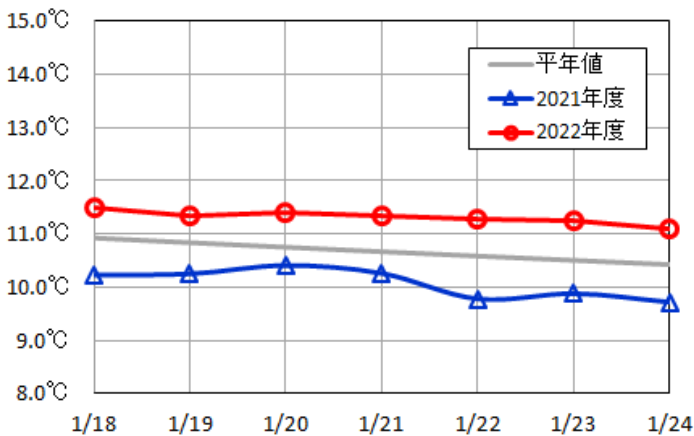
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

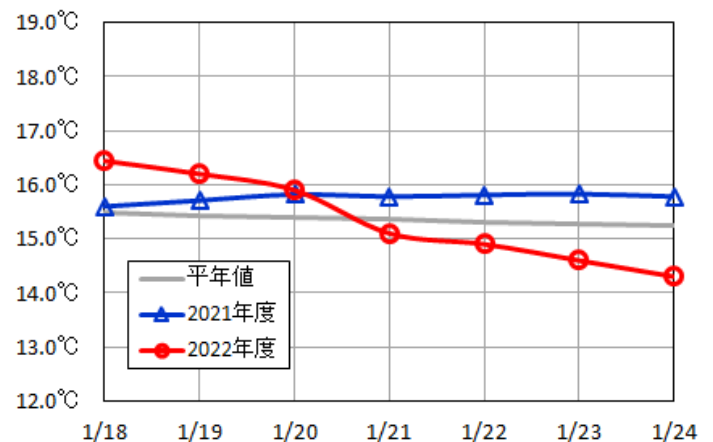
2. 地先水温(1月18日～1月24日)

鳴門地区の水温は、11.1～11.5℃で「やや高め」、日和佐地区は14.3～16.4℃で、「やや高め」から「やや低め」で推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は3.2～4.9℃で、先週と比べて狭まった。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報(1月25日～1月31日)

黒潮は、室戸岬、潮岬沖とも、「著しく離岸」する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「やや高め」、日和佐地区は「やや低め」で推移する見込み。

漁況 (1月16日～1月22日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：5)

延縄では、サワラが増えて大主体に1.4ト、ブリが減ってめじろ級主体に0.8ト、ムツが増えて0.3ト、あまだい類が小小主体に0.2ト水揚げされた。

建網では、メジナが増えて0.5ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが減って1ト、ブリが0.4ト、カワハギが減って0.3ト、すずき類が減って0.2ト水揚げされた。

底びき網では、かます類が増えて2.3ト、コウイカが減って大主体に1ト、マダイが大きく増えて0.9ト、モンゴウイカが0.8ト、えそ類が0.7ト、ハモが増えて中主体に0.3ト、シリヤケイカが0.3ト、ヒラメが0.3ト、いとより類が減って0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

釣りでは、タチウオが増えて2.8ト、ブリが大きく増えて大主体に0.4ト水揚げされた。

延縄では、アカムツが0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、メジナが増えて中主体に1.8ト、アオリイカが大きく減って0.3ト水揚げされた。

大型定置網では、ブリが大きく増えてめじろ級主体に0.3ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり(kg)	銘柄	前週比※
紀伊水道	延縄	45	サワラ	1,398	31	大主体	↗
		39	ブリ	765	20	めじろ級主体	↘
		12	ムツ	268	22		↗
		38	あまだい類	245	6	小小主体	→
	建網	39	メジナ	483	12		↗
	小型定置網	24	マアジ	971	40		↘
		19	ブリ	417	22		→
		24	カワハギ	257	11		↘
		13	すずき類	227	17		↘
	底びき網	44	かます類	2,250	51		↗
		48	コウイカ	1,027	21	大主体	↘
		37	マダイ	903	24		↗↗
		35	モンゴウイカ	797	23		→
		44	えそ類	664	15		→
		30	ハモ	296	10	中主体	↗
		31	シリヤケイカ	276	9		→
31		ヒラメ	273	9		→	
海部沿岸	釣り	28	タチウオ	2,782	99		↗
		8	ブリ	351	44	大主体	↗↗
	延縄	6	アカムツ	230	38		→
	小型定置網	19	メジナ	1,774	93	中主体	↗
		39	アオリイカ	283	7		↘↘
大型定置網	5	ブリ	301	60	めじろ級主体	↗↗	

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘